



平和集会(8月9日)の内容について

こんにちは生徒会です。今回は8月9日(金)に実施する「平和集会」の内容を紹介します。本校ではメインとなる内容については、毎年異なる内容のものを実施しています。今年は「**被爆体験者による講話**」を中心に内容を組み立ててみました。

生徒の皆さんは講演の前に、この生徒会だよりに目を通してもらっておくとありがたいです。なお、当日は体育館内の気温の上昇が予想されることから、「**オンライン**」で実施します。

【令和6年度平和学習の内容】

1. 平和学習(自教室)

- ①被爆体験者による講話
- ②講話の感想の記入

2. 「平和への誓い」の記入と教室掲示(自教室)

- ①鳩型の用紙に各自「平和の誓い」を記入し、模造紙に貼る。
- ②模造紙は8月末まで教室に掲示する。
- ③黙祷(自教室) ※11時2分



鳩型用紙



3. その他

【生徒会役員並びに学級委員長へ】

各クラスの委員長並びに生徒会役員は、中掃除終了後第8講義室に集合すること。講師の先生の講話を直接聴きます。

【学級副委員長へ】

当日はTeams会議を使用してオンラインで講師の先生の映像をプロジェクターに投影するので、**タブレット**を必ず持参すること。投影の仕方がわからない人は、事前に知っている人に聞いておくこと。

【生徒全員へ】

“平和への誓い”を記入する紙を**ハサミ**で切り、貼る作業があるので、**ハサミとのり**を持参すること。

【当日の日程】

8:30~ SHR

8:45~ 9:15 中掃除

9:30~ 11:10 平和学習

11:10~ 11:30 HR

【講話の内容】

講師者：被爆体験者 清野 定廣（きよの さだひろ）さん
（公財）長崎平和推進協会継承部会員

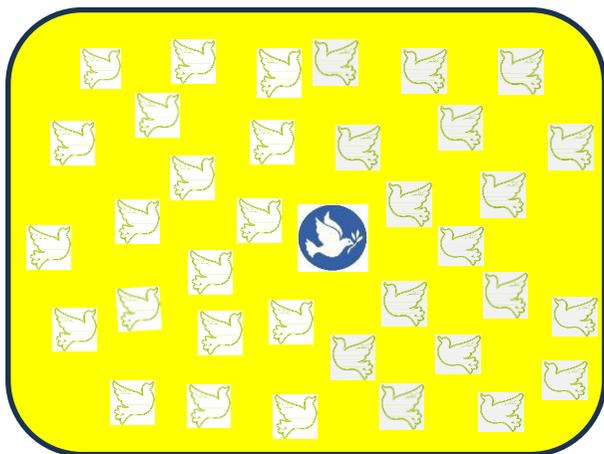
演題「原爆体験（無差別大量破壊殺人核兵器）」

男性。大村市在住。被爆当時8歳。

「当時8歳、12Km離れた深堀村の寺で遊んでいる時、爆風にあおられた。これは広島に落とされたピカドンと同じもので恐ろしいものだとしり、兵器工場に動員されていた20歳の姉が無事だったので、私、兄、妹の4人で佐賀県へ疎開した。

爆心地を通り道の尾駅まで歩いた時に見た残虐極まりない死傷を受けた多くの人たちの痛恨の叫びと、無傷だった姉が一週間後、放射能障害を発症して逝った無念の思いを語りたい。」

（出典：国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館ホームページ）



鳩型の用紙は、鳩の向きが左向きと右向きの2種類あります。

【鳩型への用紙への記入について】

鳩型の用紙にあなた自身の「平和への誓い」を考えて書いてください。

- ①講話を参考に、**平和な世界を作るために私たちができること**をよく考えて書いてください。身近なところで何ができるかを真剣に考えて書きましょう。
- ②**名前**は必ず書いてください。
- ③模造紙の中央に貼付する鳩以外のレイアウトは自由です。